

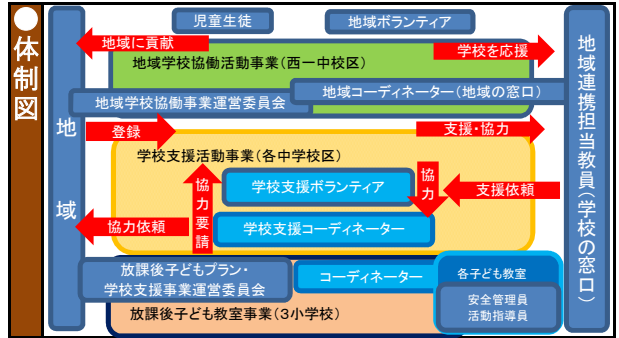
こんな活動です

地域人材を生かした人づくり・村づくり・絆づくり

福島県西郷村	●活動名	●関係する学校名
	西郷村地域学校協働本部	西郷村立西郷第一・西郷第二・川谷中学校、西郷村立熊倉・小田倉・米・羽太・川谷小学校

協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	8 校	のべ学級数	40 学級	のべ児童・生徒数	930 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		—			
	地域未来塾	放課後子供教室		—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人		—		6人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携		
	令和3年4月1日設置予定		—	205人	無		
参考URL	https://www.vill.nishigo.fukushima.jp/						

●連絡先	西郷村教育委員会 生涯学習課	☎ 0248-25-2371
------	----------------	----------------



●活動の概要・経緯

【学習支援事業】《西郷第一中学校区で実施》
 対象者：熊倉・米・羽太小学校児童。西郷第一中学校生徒。熊倉・米・羽太児童館。
 開催日：小学校は週1～2日。中学生は土曜日。児童館は週2～4日。夏休み・冬休み(学習教室)。
 【地域活動・ボランティア活動】《西郷第一中学校区》村立幼稚園・小学校の運動会準備係。村行事の補助役員。学区内、公共施設清掃ボランティア活動。
 ※ コーディネーター、地域担当者、活動指導員の打合せ(隔週1回)や運営委員会の開催(年2回)
 【放課後子ども教室事業】《村内》対象者：1～6年生開催日：水、金の週2日※コーディネーター、安全管理員、活動指導員の打合せ(月1回)や運営委員会の開催(年2回)
 【学校支援事業】《村内》実施学区：西郷第一・西郷第二・川谷学校支援本部の3支援本部で実施。
 西郷第一(熊倉小、米小、羽太小、西郷第一中)・西郷第二(小田倉小、西郷第二中)・川谷(川谷小、川谷中)
 コーディネーターの配置、各学校やボランティアの調整、連絡役として、各支援本部にコーディネーターを配置。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

【学習支援】

○地域人材を生かして学習教室を実施。内容は基本的な学習から発展的・応用的な学習まで、系統的に学習したり、自分の苦手な学習をしたり、個人に合った学習スタイル。小学校は放課後、小学校の特別教室、夏・冬休み学習教室、中学生学習教室は村文化センター、児童館は放課後、児童館で実施。宿題、プリント、ドリル、予習や復習、前学年の復習等学習。いずれも個々の学力向上を目指し、個別対応で実施。

【地域活動・ボランティア活動】

○「自分達ができることをまず取り組もう」と地域に目を向け、各行事に参加してボランティア活動を行っている。
 幼稚園・小学校の運動会の準備係。西郷村一周駅伝・クロスカントリー大会、市町村駅伝の補助役員。地域の清掃ボランティア活動。ごみ拾い。公共施設のロビーや外周りの清掃活動。
 【放課後子ども教室】

○下校後、午後4時40分まで活動を行う。活動内容は宿題、読書、お絵かき、オセロ、トランプ、鬼ごっこ、縄跳び、バドミントン、ボール遊び。年間80回、合同のイベント3回。

【学校支援】

○各学校の要望に応じ、支援本部のコーディネーターが学校支援ボランティアに対し支援活動を要請。
 ○地域ボランティアやPTA、西郷村子どもの安全見守り隊と連携し、登校時の見守り、安全指導、学習支援活動、登下校の見守り、学校畑の作業、持久走のコース安全管理、資源回収の手伝い、家庭科補助、森林学習、昔遊びなど。

【実施に当たっての工夫】

- ①各学校や施設等に地域学校協働活動の活動内容の説明を行い、趣旨の共通理解を図る。
- ②各学校の行事や日課表を参考に連携・協働活動として共有できることを確認し取り組めることから実施する。
- ③地域人材の活用による地域との連携・協働の推進や地域連携協働活動の知名度をアップするため広報活動や各校において説明会を行う。
- ④担当者、コーディネーター、連携担当教員との「打ち合わせ会」を実施し、意見を交換し共通理解を図り、各校へ情報を伝え共有する。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

【地域学校協働】

- ・参加児童・生徒からは、「分からないところが分かった」「曖昧だったところが理解できた」「簡単なやり方が分かった」など好評であった。
- ・学習塾に行けない子や不登校ぎみの子も参加。学習意欲に繋がった。
- ・児童生徒の地域清掃活動を見て、地域の方の意識が変わり、集会所や公民館の清掃活動が計画的かつ活発になった。

【放課後子ども教室】

- ・スポーツリクレーションやお話会等を通し、教室間の交流が図られ、子ども同士のコミュニケーションの場となった。

【学校支援】

- ・支援を行うことで学校側の負担も減り、また子どもたちも地域のボランティアの方々と触れ合う機会が増え地域コミュニティの活性化に繋がった。

● その他

- ・「地域の子どもは地域で守ろう」を合言葉に、今後もより多くの方々に関わってもらえるよう、様々な意見を取り入れながら事業内容を工夫している。
- ・地域の教育力を活用することで、地域と学校が双方向で連携できるようになり、互いの理解が深まることで、地域のさずなづくりへとつながった。



(夏休みの学習教室(西郷村文化センター))



西郷第一中学校生徒の地域ボランティア(清掃活動)